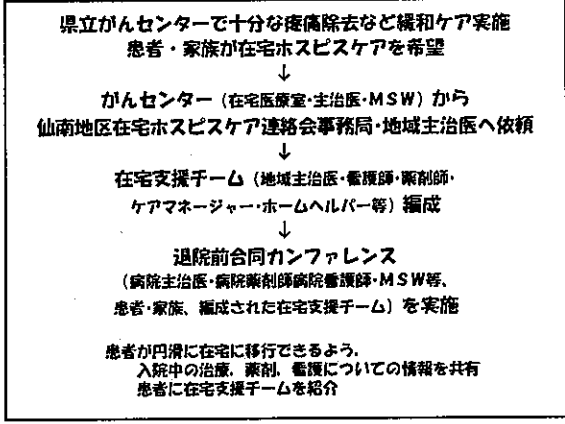


### 仙南地域の状況

2市7町 人口191,835人 (18年3月31日現在)  
・65歳以上人口5386人(2.04%)

・平成16年管内の死亡者数は1,820人(人口千対9.38)  
死亡場所: 自宅14.6%(265人), 病院76.9%  
がん死亡者数は532人(人口10万対274.3)県平均  
・地域資源: 病院14(2016床), 診療所113(293床)  
薬局90, 訪問看護ステーション6(支所含)

・救急医療体制  
初期: 休日の在宅当番医制(内科, 外科)  
二次: 病院群輪番制(2病院)  
三次: 仙台医療センター, 仙台市立病院



### 在宅ホスピスケアを支えるメンバー

県立がんセンター	病院主治医, 医事課長, 病棟課長, 受持看護師, 外来看護師, MSW
連携医療機関等	地域主治医, 地域看護師, 地域薬剤師
ボランティア組織 民間機関等	社会福祉協議会, ティサービス職員, 地区民生委員, 介護支援センター職員
市町	保健師, 福祉担当者
保健所	所長, 薬剤師, 保健師ほか

### 保健所の役割

企画総務課	在宅受け入れ事例等に関する情報収集, 県立がんセンターとの調整, 医師会, 市町, 在宅介護支援センター, 訪問看護ステーション, 社会福祉協議会, 地域医療対策委員会などの体制づくり
食品薬事課	薬剤師会との調整, 薬剤師会定例会での研修
地域保健課	地域のニーズの把握, 地域スタッフの研修, 管内市町との連絡調整
保健指導課	患者受け入れマニュアルの作成 ケースを受け入れる準備, 実践システムの継続管理, 修正, 還元



### 仙南地区の在宅ホスピスケアにおける特徴と課題

- ✓ 保健所が調整役を務めることで、各方面の安心感が生まれ、参加が容易となった  
それでも調整には時間を要した
- ✓ 地域主治医のほかに麻酔科出身医師がいたことで、疼痛コントロールについて地域主治医を指導  
地域主治医による適切な麻薬処方普及
- ✓ 保健所薬剤師の働きかけによって、地域薬剤師が積極的に関与するようになり、薬局薬剤師が在宅ケアに参加  
麻薬の取り扱い方も徹底  
しかしまだ麻薬を取り扱わない薬局があり、研修等の充実が必要

